

3月末に調査した2007年4月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。
2007年4月の消費意欲は、先月から0.7ポイント減少し、
51.3点でした。

前年同月比では2.1ポイント減少、3月に続き前年割れとなる。

■「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

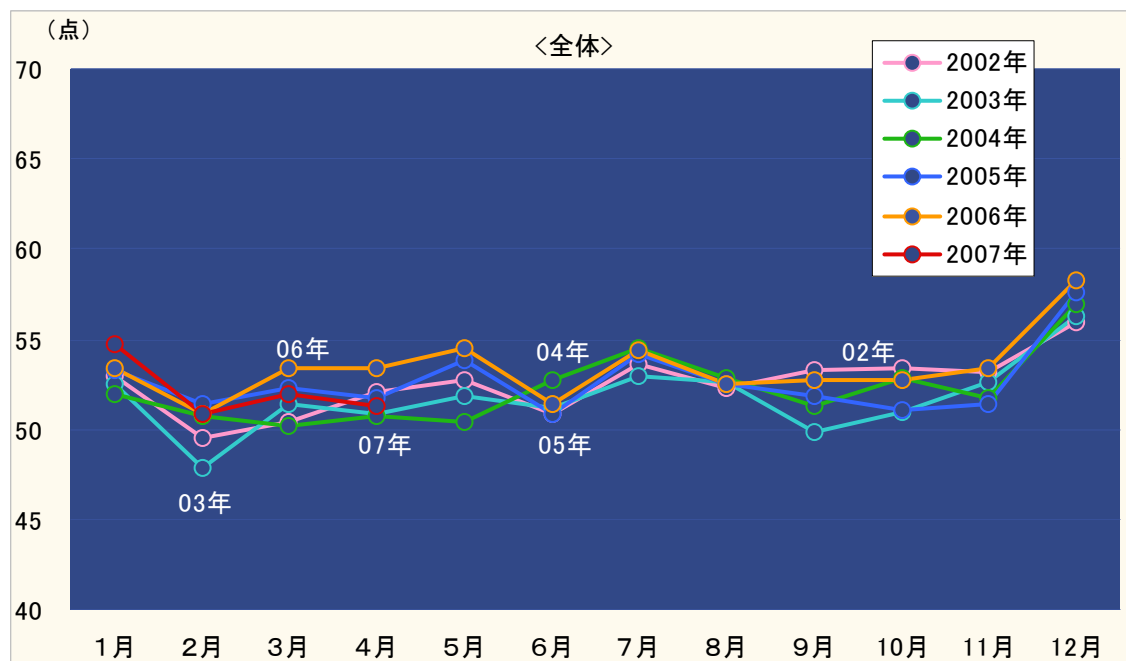
3月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者420名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの2007年4月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「4月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

■ 2007年4月の消費意欲指数は、先月から0.7ポイント減少し、51.3点でした。

4月の消費意欲指数は先月より0.7ポイント減少し51.3点でした。また、前年同月比も2.1ポイント減少で、3月に続き前年割れとなりました。

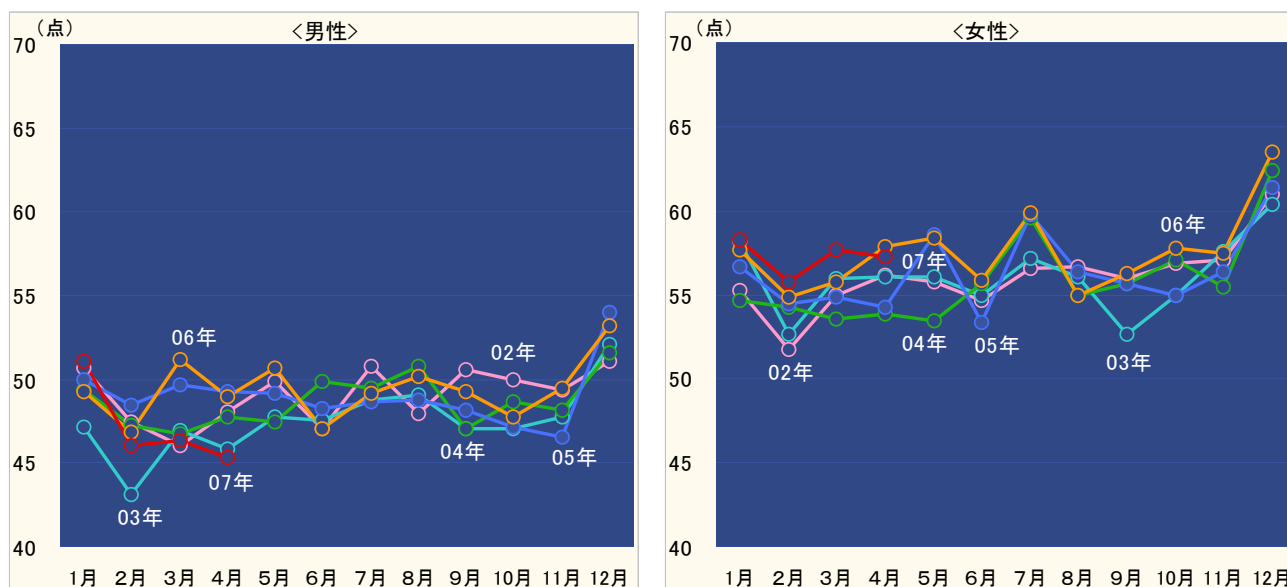
昨年の秋から好調に推移していた消費意欲指数ですが、今年は2月以降やや低迷が目立ちます。特に男性の落ち込みが大きく、これが全体の消費意欲指数の低迷の原因になっています。4月中旬に発表された政府の景気の基調判断は「回復基調」との判断ですが、これまで景気拡大を支えてきた企業の生産関連の動きが鈍く一部に弱さが見られる、との分析もあります。今後も景気の動向に注目していきたいところです。



■ 男性の消費意欲指数が過去最低に、女性は好調を持続。

男女別で見ると、男性が先月比-1.1ポイントで45.3点、女性は-0.4ポイントで57.3点となり、男女差が3月よりさらに拡大しました。前年同月比も、男性は-3.7ポイントとなり、4月としては調査開始以来の最低値となりました。一方で、女性も-0.6ポイントと8ヶ月ぶりに前年を下回りまわったものの、数値としては好調を維持しています。

同時調査の生活力点の「モノ消費」項目でも、男性は「中くらいの買い物」「大きな値の張る買い物」でかなり低い数値となっているのに対し、女性は平均的な数値でした。3月と同様、元気な女性、低迷する男性という構図が続いています。



※博報堂生活総合研究所のHP (<http://seikatsusoken.jp/>)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要:HILL ネット調査】

調査地域:首都圏／ 調査対象者: 19～73才の男女個人420人／ 調査方法:郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

